

将来を厳ぐチェック！

9月定例会（9月12日開会） 町から報告2件・議案9件・認定2件、議会から発議2件

かけがえのない我が熊野町の

気になる4件をピックアップ

ピックアップ①

議案第42号 連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

広島中央地域連携中枢都市圏の形成に関する呉市との連携協約の締結について議決しました。

構成する市町は、呉市・竹原市・東広島市・江田島市・海田町・熊野町・坂町・大崎上島町とする。

※平成30年4月1日から施行

ピックアップ②

議案第45号 平成29年度熊野町一般会計補正予算（第2号）について

歳入・歳出とも1億2978万9千円を追加し、総額を82億4466万円としました。

（歳入） 地方交付税や繰越金等が増額したことに伴い、繰入金を増額した。

（歳出） 建設部門の都市再生整備事業（熊野団地地区）の宅地前道路側溝工事、教育部門のくまの・みらい交流館東屋設置工事等を増額した。

総務部門の庁舎修繕工事や町有地の測量、くまの産業団地企業立地奨励金、災害予防事業等を増額した。

民生部門の西部ふれあい広場工事変更や児童クラブ支援員等の社会保険適用対象者の増、公害対策事業等を増額した。

建設部門の農業用水路の復旧対応や町道局部改良事業の用地購入費等を増額した。

教育部門の社会教育一般事業の「くまどく」や町立図書館職員の人件費等を増額した。

ピックアップ③

発議第1号 道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

道路財特法の補助率の嵩上げを平成30年度以降も継続することを国へ要望する。

15名の議員全員が賛成しました。（議長は採決に参加しません）

現在、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（道路財特法）により、地域高規格道路や交付金事業の補助率が、50％から55％に嵩上げされている。しかし、この嵩上げ規定が29年度までの期限措置となっているため、継続を要望することとした。

ピックアップ④

発議第2号 学校施設及び体育施設への空調設備整備促進を求める決議

学校の普通教室や体育館、また町民体育館への空調設備の早急な整備の推進を求める。

11名の議員が賛成、4名の議員が反対、賛成多数により、可決しました。（議長は採決に参加しません）

教育施設は、児童生徒にとっての学びの場、成長の場である。また、保護者や地域の人たちにとっては地域交流の場でもあり、さらには災害時の避難所としての役割が求められる施設でもある。近年の地球温暖化の影響により、児童生徒の健康への配慮や教育環境の悪化防止を図る観点から、空調設備の整備を求める。また、町民体育館も含めた避難所、防災拠点としての機能強化を推進するよう求める。

主な質疑

ピックアップ①

Q. 呉市との連携協約により、火葬場の使用料は安くなるが、スポーツ施設の使用料はどのようなか。

A. スポーツ施設の相互利用については、今後具体的に詰めていく。

ピックアップ②

Q. 地域振興事業、集会所の老朽化対策はどのように進めているか。

A. 例年10月に各自治会長からの申請を受けて予算化している。緊急時は補正で対応している。10万円以上の工事については、60％の補助を行っている。

Q. 社会福祉総務費、都市再生整備事業800万円について説明を。

A. 西部ふれあい広場の第二期工事でトイレの拡充やフェンス嵩上げによるもの。

Q. 衛生費、公害対策費206万5千円の補正の事業内容は何か。

A. パリ協定に基づく地球温暖化対策で、CO₂の26％の削減を目指している。

Q. 全額環境省の補助事業でリーフレットやパネルを作成して講座等を開催、住民への浸透を図っていく。

Q. 商工振興事業、くまの産業団地企業立地奨励金130万3千円の補正について説明を。

A. 固定資産税額の確定に伴うもので、当初計上していたが、調整をする必要が生じた。

Q. くまの・みらい交流館の壁のひび割れ原因は何か。

A. コンクリートの収縮によるもので、重大なものではなかった。一般的な補修の方法で修繕した。

ピックアップ④

※「質疑」は、ありませんでした。

※「討論」は、賛成か、反対かを明確にして、意見を述べるものです。

討論の内容は次のとおりでした。

・反対である。

地方自治法では議員の発議は議案に載らない案件、例えば条例の作成、不信任案、定数等に対して発議できる。ただし、予算に関してはしてはならない。この案件は予算を伴うため取り下げるべきである。

・賛成である。

住民の福祉を求める立場からも賛成だ。災害は必ず来るものだ。避難場所は住民にとって大切な場所であり、地域住民の声を発議したもので、趣旨に沿ったものだ。

・反対である。

発議の内容は賛成だが、一般質問で町長から普通教室に空調設備を設置するとの答弁があった。体育施設に関しては本町の財政を考慮し、議会と執行部で議論を重ねるべきで発議という手法には反対である。